

# 日米協働 地球規模に

## 首脳会談

### 「平和と繁栄へ努力継続」

岸田首相とバイデン米大統領は10日の首脳会談で、防衛と外交、経済安全保障など幅広い分野での協力を確認する。日米が世界的な課題の解決に「協働」することで、覇権主義的な動きを強める中国に対抗し、国際秩序を維持・強化する狙いがある。

(ワシントン 森藤千恵、上村健太、本文記事)



首脳と裕子夫人、バイデン氏とシル夫人の4人は、首脳会談前日の9日夕(日本時間10日朝)、ワシントン市内にあるレストランで、非公式の夕食会に臨んだ。

「2人で写真を撮ろう」レストランに向かう大統領専用車中では、バイデン氏が首相にツーショット撮影を持ちかけた。両首脳はそれぞれのX(旧ツイッター)に写真を投稿し、「蜜

◆これまでの公式訪米での日米首脳会談

1987年4~5月

米国の対日貿易赤字を減らすため、日本が国内需を拡大させることを確認。中曽根氏は、米国が日本製品にかけた高い関税措置の解除を取り付けた

中曽根康弘 首相

ロナルド・レーガン 大統領

99年5月

クリントン氏は、自衛隊の対米支援活動などを盛り込んだ新しい日米防衛協力の指針(ガイドライン)関連連法案の衆院通過を評価

小淵恵三 首相

ビル・クリントン 大統領

2006年6月

政治、経済、安全保障の各分野で協力を深化させる「新世紀の日米同盟」を提唱

小泉純一郎 首相

ジョージ・ブッシュ 大統領(子)

15年4月

戦後70年間、両国が世界の平和や繁栄に貢献してきたとする「日米共同ビジョン声明」を発表

安倍晋三 首相

バラク・オバマ 大統領

24年4月

「未来のためのグローバルパートナー」と発題した共同声明を発表し、宇宙や人工知能(AI)など幅広い分野での連携を確認

岸田文雄 首相

ジョー・バイデン 大統領

だ。バイデン氏夫妻の「お気に入り」の店で、カニを使った名物料理「クラフケーキー」などに舌鼓を打ちながら、趣味や家族などプライベートな話を花を咲かせた。



岸田首相が現地時間9日(日本時間10日)、自身のX(旧ツイッター)に投稿したバイデン米大統領とのツーショット写真

2021年1月に大統領に就任したバイデン氏が国賓待遇で米国に招いたのはフランス、韓国、インド、豪州の首脳で、岸田首相は5人目。11月の大統領選の活動と重なるこの時期の受け入れにはバイデン政権内閣支持率の低迷が続く。首相も、9月末に自民党総裁任期が迫る中、訪米を政権浮揚の足がかりと位置づける。首相周辺は「自民党派閥の政治とカネの問題で追い込まれていく局面を転換したい」と期待を込める。

■中国への危機感

首相は10日午前(同10日

### 在日米軍・自衛隊 指揮統制 現代化へ

共同声明では対中抑止力の強化を見据え、同盟の現代化に向けた防衛・安全保障分野が柱となった。

バイデン政権が「日米安全保障条約締結後、最大級の変化」(高官)と位置づけるのは、平時・有事を問わず連携を強化する日米の指揮統制の見直し。対中作戦の最前線で、世界最大の駐留部隊となる在日米軍の重要性が増しているからだ。

陸海空自衛隊を束ねる「統合作戦司令部」が2024年度末に創設され、これに対応し、現在は作戦指揮権を持たない在日米軍の司令部機能の強化を図る。具

韓国では在韓米軍と韓国軍の指揮統制が一体化されているが、自衛隊とは有事下でも分離する方針だ。

米国防務省は「日米が情報・シフトは「日米が情報と一緒に見ながら共同で分析することで、柔軟性と能力が格段に増す。将来的にはサイバー防衛の面でも資源の共有が進む」とみる。

日本側にも「反撃能力」を運用する上で目標地点を特定する「ターゲットング能力」が不可欠だ。情報共有の高度化が自衛隊の抑止力と対処能力の向上につながるなどの期待がある。

ただ、米政府内には新たな

夜の歓迎式典で、「世界はこれまで以上に多くの課題と困難に直面している。10年後、100年後の世界のあり方を見据え、両国の関係を不断に発展させながら、共に世界の課題解決の先頭に立つ」と強調した。共同声明では、日米関係を「未来のためのグローバル・パートナー」と明記し、米側が「過去最多の70超」と説明する項目数の協力で合意する。背景には、米国の超大国としての力が陰る中、一国では中国との覇権争いに打ち勝てないとの危機感がある。

ロシアのウクライナ侵略

ただ、不安要素も残る。大統領選で再選を目指すパウ

イアン氏が、世論調査で共和党候補になることが確実視されるトランプ前大統領にリードを許す結果も出ているためだ。「米国第一主義」を掲げるトランプ氏が勝利すれば、日米が同盟国と協調し、国際秩序の維持に与するということも共通認識が引き継がれるかは不透明だ。

日米両首脳は共同声明の締めくくりでこう強調する。

「我々のパートナーシップが将来の平和と繁栄の推進力となるよう、絶え間ない努力を続けることを誓う」

負担も軽減されるだろう。

なにより重大なトラブルが起きても、筆で判度が導入された。今では68

紅蓮閣議では、建策被害が報告